イフジ産業株式会社

証券コード2924

第48期 **中間株主通信**

2019年4月1日 ～2019年9月30日

株主の皆様へ

代表取締役社長　藤　井　宗　徳

株主の皆様方には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

■第２四半期決算

- **販売数量**（鶏卵関連事業）　**27,580** t　前年同期比 **2.8** %増
- **売上高**　**6,564** 百万円　前年同期比 **3.2** %減
- **営業利益**　**450** 百万円　前年同期比 **29.4** %増
- **経常利益**　**461** 百万円　前年同期比 **28.7** %増
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**　**310** 百万円　前年同期比 **24.6** %増
- **１株当たり中間配当金**　**9** 円　前年より **1** 円増配

当社グループの当第２四半期連結累計期間の経営成績につきまして、売上高は前年同期比3.2%減の6,564百万円となりました。営業利益は同29.4%増の450百万円、経常利益は同28.7%増の461百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同24.6%増の310百万円となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも第２四半期連結累計期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

鶏卵関連事業におきまして、業績の重要な指標である販売数量は前年同期比2.8%増の27,580tとなり、第２四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となりました。売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比約5.9%（約10円）低下したため、連動する販売単価も低下したこと等により、同2.6%減の6,029百万円となりました。セグメント利益につきましては、販売数量が増加したことや鶏卵相場の低下により連動する原料仕入単価も低下したこと、また製造コストの削減等により、前年同期比34.7%増の438百万円となりました。

調味料関連事業につきましては、売上高は既存商品の販売減少やスナック向け商品の採用が少なかったこと等により前年同期比8.8%減の548百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比73.9%減の３百万円となりました。

太陽光発電事業につきましては、売上高は前年同期比13.8%減の14百万円となり、セグメント利益は同15.6%減の８百万円となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、当初の予想より変更はございません。中間配当金につきましても当初の予想通り、１株当たり９円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

連結財務諸表

■連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科　目	前期末（2019年3月31日現在）	当第2四半期末（2019年9月30日現在）
資産の部		
流動資産	5,584	5,217
現金及び預金	2,303	2,103
受取手形及び売掛金	2,185	1,875
その他	1,095	1,238
固定資産	5,126	5,098
有形固定資産	4,964	4,923
無形固定資産	7	5
投資その他の資産	153	169
資産合計	10,710	10,316

科　目	前期末（2019年3月31日現在）	当第2四半期末（2019年9月30日現在）
負債の部		
流動負債	2,558	2,267
固定負債	2,450	2,235
負債合計	5,008	4,503
純資産の部		
株主資本	5,645	5,755
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	4,829	5,065
自己株式	△7	△131
その他の包括利益累計額	57	57
その他有価証券評価差額金	57	57
純資産合計	5,702	5,812
負債純資産合計	10,710	10,316

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書（要約）（単位：百万円）

科　目	前第2四半期（2018年4月1日～2018年9月30日）	当第2四半期（2019年4月1日～2019年9月30日）
売上高	6,783	6,564
売上原価	5,526	5,155
売上総利益	1,257	1,409
販売費及び一般管理費	908	958
営業利益	348	450
営業外収益	17	17
営業外費用	6	5
経常利益	358	461
特別利益	11	0
特別損失	9	13
税金等調整前四半期純利益	361	449
法人税、住民税及び事業税	125	151
法人税等調整額	△13	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	310

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

液卵とは

液卵とは鶏卵を割って中身を取り出したものです。基本的には読んで字のごとく液状の形態をしています。
当社では全国の養鶏場から卵を仕入れ、お客様の用途に合わせて、様々な方法による殺菌や卵黄・卵白の分離等を行っております。

液卵の５大メリット

1 作業効率のアップ
割卵の手間が省け衛生的

2 品質の安定
製品の均質化が図れる

3 経 済 性
原材料費の不安定さを抑える

4 貯 蔵 性
凍結すれば長期保存が可能

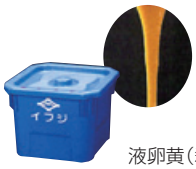
5 作 業 環 境
保管及び輸送の効率化、二次汚染防止

商品ラインナップ

液 卵

液全卵ホール
（未殺菌）

液全卵（殺菌）
液全卵（未殺菌）


液卵黄（殺菌）

液卵白（殺菌）
液卵白（未殺菌）

凍結卵

凍結全卵（殺菌）
凍結20%加糖全卵（殺菌）
凍結20%加糖卵黄（殺菌）
凍結10%加塩卵黄（殺菌）
凍結卵白（殺菌）
凍結卵白（未殺菌）
凍結製菓用卵白（未殺菌）

ミニパック

凍結全卵
（殺菌）

凍結20%加糖卵黄
（殺菌）

凍結製菓用卵白
（未殺菌）

凍結製菓用卵白
（殺菌）PCW-02

茶わん蒸しベース

凍結茶わん蒸し
ベース（殺菌）

凍結濃縮茶わん蒸し
ベース（殺菌）

凍結卵ピロー包装

凍結卵ピロー包装

ゆで玉子

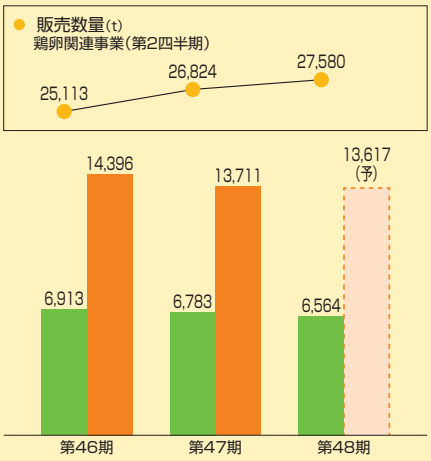
水煮ゆで玉子

おでん味付玉子

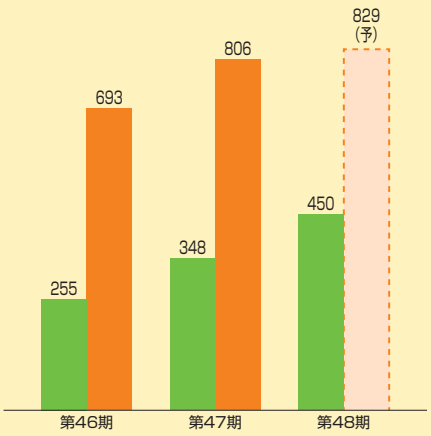
第２四半期決算ハイライト（連結）

第2四半期　通期　（百万円）

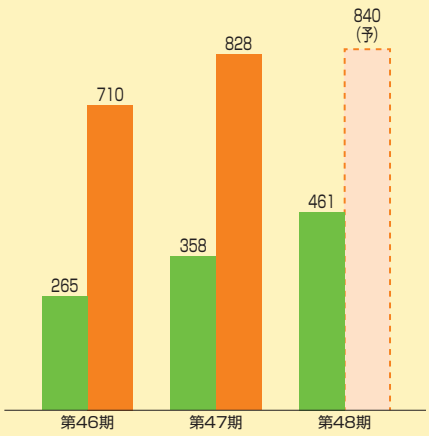
売上高



営業利益



経常利益



液卵の生産工程

■原料入荷から割卵・殺菌、出荷までの製造工程

変わらぬ志を、
先端技術と最新設備で
カタチにしています。

原料入荷
入荷された原料の品質を管理するために、卵重・卵白高・卵黄色の測定を行い、その後生産管理システムへ入力します。

冷蔵保管
全国の契約農家から新鮮な卵を入荷。適温とされる 8℃以下で保管されます。原料の品質や用途を考慮して鶏卵の先入先出を徹底しています。

投入
卵殻に付着している様々な雑菌を消毒するために消毒液の中に原料卵を投入し、洗浄します。

割卵・分離
高速割卵機を導入し、作業の省略化、迅速化を実現しています。
また、新型割卵機では卵黄と卵白を分離する場合、スキャナにより自動制御されます。

ろ過
割卵作業中に混入した卵殻の小片などは、ろ過器によって除去されます。

殺菌
1時間あたり1,000～6,000Lの殺菌能力をもつ連続式殺菌機を導入。低温殺菌で卵の品質を落とすことなく安全で均一な液卵が製造できます。

貯蔵
殺菌を終えた液卵は、それぞれ所定の貯蔵タンクに貯蔵。製品が空気に触れないクローズドシステムと呼ばれる方式を採用し、菌の混入を防いでいます。

充填
最新鋭の充填機によりすばやく正確に充填計量され、ヒートシーラによって密封されます。

冷蔵保管
完成した液卵・凍結卵は、専用の容器に詰められ、すぐに製品冷蔵庫へ移されます。

出荷
輸送される液卵・凍結卵は細菌の混入を防ぐために、厳重な衛生・温度管理のもと、お客様へ届けられます。

ニーズに応える安定供給

三位一体の供給体制

製造
安定品質を確保
HACCPに準拠した工程管理
最新鋭設備導入

購買
独自の購買体制を構築
需給調整機能
安定買い付け

流通
全国配送を実現
全国4工場のネットワークで万全の配送体制

関西事業部

関東事業部

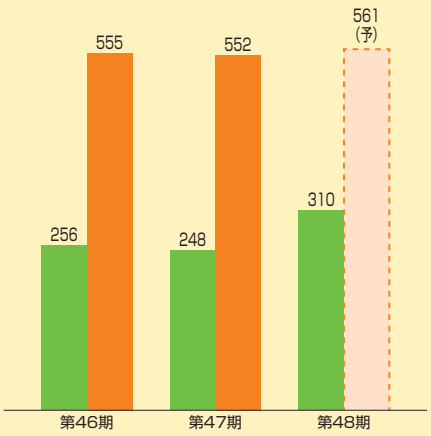
本社・福岡事業部

名古屋事業部

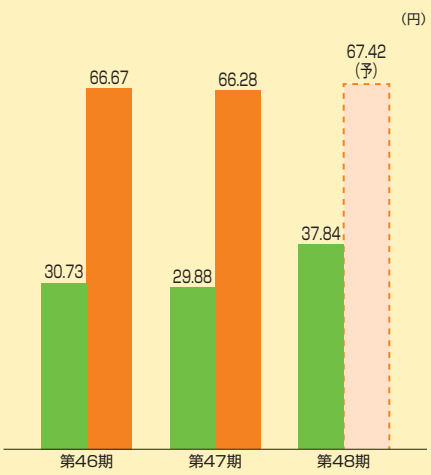
グループ会社：日本化工食品㈱
調味料関連事業の柱として、当社とともに成長

日本化工食品㈱千葉工場

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



■配当について

当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を重要な経営課題としており、またシェア及び収益向上を図るための生産設備、研究開発等への投資が必要と考えております。

株主の皆様に対する利益還元策としては、今後の事業展開等を勘案し、連結ベースで配当性向25～30%を目安としております。

2020年3月期の配当につきましては、1株当たり18円（中間9円、期末9円）を予定しております。

	2018.3（連結）	2019.3（連結）	2020.3（予定）
1株当たり配当金(円)	16	17	18
1株当たり利益(円)	66.67	66.28	67.42
配当性向(%)	24.0	25.6	26.7

株式の状況（2019年9月30日現在）

発行可能株式総数	16,792,000株
発行済株式の総数	8,141,448株（自己株式203,922株を除く）
株主数	6,103名

所有者別分布状況

個人・その他	6,382千株	76.5％
金融機関	1,020千株	12.2％
その他国内法人	667千株	8.0％
外国法人・外国個人	21千株	0.3％
証券会社	48千株	0.6％
自己名義株式	203千株	2.4％

※千株未満は切り捨てて表示しております。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

https://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 2924

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社 a2mediaについての詳細 https://www.a2media.co.jp）※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」
TEL:03-6779-9487（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

会社概要（2019年9月30日現在）

商号	イフジ産業株式会社 （英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.）
設立年月日	1972年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2318 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号 TEL　092-938-4561（代）
従業員数	120名（臨時従業員は除く。）
事業部	福岡事業部　福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号 TEL　092-938-4561 関西事業部　京都府綴喜郡井手町大字井手小字合藪3-1 TEL　0774-99-4801 名古屋事業部　愛知県安城市二本木新町一丁目8番7号 TEL　0566-72-1611 関東事業部　茨城県水戸市酒門町4476-17 TEL　029-248-2311
グループ会社	日本化工食品株式会社

役員	取締役創業者会長	藤井徳夫
	代表取締役社長	藤井宗徳
	常務取締役	池田賢次郎
	取締役	原敬
	取締役	見島文
	取締役（社外）	川原孝
	取締役（社外）	山村幸
	常勤監査役（社外）	髙宮正郎
	監査役（社外）	近藤哲志
	監査役（社外）	酒井隆浩

http://www.ifuji.co.jp ▲動画TOP画面

◆ホームページのご案内

決算の詳しい情報は当社ホームページでご覧いただけます。またイフジ産業がわかる動画も配信しています。ぜひご覧ください。

株主ご優待について

贈呈基準	毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年2回、以下の基準により贈呈いたします。 株式数100株以上1,000株未満 一律300円（100円券×3枚） 株式数1,000株以上 一律1,200円（100円券×12枚）
利用方法	全国の主な百貨店およびスーパー等で卵の購入の際に利用できます。
有効期限	発行日から5年
取扱店舗	全国の主な百貨店およびスーパー等（詳しくは同封する書類に記載）

●株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120－782－031（フリーダイヤル） 取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告掲載方法	電子公告により当社ホームページ（http://www.ifuji.co.jp）に掲載いたします。ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

●お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。